

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ冒険記4

国立市立国立第七小学校

平成28年12月7日 NO.75 (375)

オー君 「モンタ博士！この前は、ひこうき雲のこのお話^{はなし}をくわしくしてくれて
どうもありがとうございました。」

花ちゃん 「ひこうき雲^{ぐも}が、すぐに消えればいい天気^{てんき}、ずうっと残^{のこ}っているようだ
と
天気^{てんき}が悪^{わる}くなるというのは、とてもいい勉強^{べんきょう}ができた^{おも}と思います。」

モンタ博士 「そうだね。空^{そら}の様子^{ようす}や風^{かぜ}の吹き方^{ふう}などを見ると、お天気^{てんき}がわかるんだね。」

花ちゃん 「今は天気予報^{いま てんきよほう}があって、明日^{あした}の天気^{てんき}とかわかるからいいけど、昔^{むかし}の人は、
苦労^{くろう}したでしょうね。」

モンタ博士 「そのとおりだね。むかしは、テレビやインターネットがなくて、天気^{てんき}が予報^{よほう}
できなかつたから、人^{ひと}は空^{そら}を見上げ^{みあげ}ていたんだね。」

オー君 「ふーん。すごいね。みんながみんな気象予報士^{きしょうよほうし}さんみたいなものだったの。」

モンタ博士 「そうだね。空^{そら}を見^みて、これからの天気^{てんき}を予想^{よそう}することを、むずかしい言葉^{ことば}で
『観天望気^{かんてんぼうき}』というんだよ。」

オー君 「『観天望気^{かんてんぼうき}？』むずかしい言葉^{ことば}だな。」

花ちゃん 「例えば、『夕焼けは晴れ^{ゆうや}』とかいうけど、そういうことですか。」

モンタ博士 「ピンポン。そのとおり。夕方^{ゆうがた}にきれいな夕焼け^{ゆうや}が見^みられたら、翌日^{よくじつ}は晴れ
るという意味^{いみ}だね。天気^{てんき}は西^{にし}から変^かわる^{おお}ことが多いので、そのように言われ
ているんだ。」

オー君 「『夕焼けは晴れ^{ゆうや}』というのは、ぼくも聞いた^きことがあります。むかしの人^{ひと}の
言い伝え^{い つた}やことわざ^{ことわざ}というのは、今^{いま}でもとても役立^{やくだ}っているんですね。」

モンタ博士 「空^{そら}だけでなく、鳥^{とり}や虫^{むし}などの様子^{ようす}もよく見ていたんだよ。」

オー君 「へえー。鳥^{とり}や虫^{むし}からでも、お天気^{てんき}がわかるということですね。」

モンタ博士 「そのとおりだね。鳥^{とり}や虫^{むし}は人間^{にんげん}とちがって、屋根^{やね}のある家^{いえ}にすんでいるわけ
ではないので、天気^{てんき}の变化^{へんか}にはとても敏感^{びんかん}なんだね。」

花ちゃん 「鳥^{とり}についてのお天気^{てんき}のことわざって、どんなものがあるのですか。」

モンタ博士 「もう秋^{あき}も終わり、ツバメもいなくなっちゃったけど、『ツバメが低^{ひく}く飛^とぶと雨^{あめ}』というのがあるんだけど、どうしてなのだろうか、考^{かんが}えてごらん。」

オー君 「ふーむ。低^{ひく}く飛^とぶ？さて、どういうことだろう・・・。」

花ちゃん 「低^{ひく}い所^{ところ}を飛^とぶというのは、えさとなる虫と関係があるのですか。」

モンタ博士 「そのとおりだね。まず、雨雲^{あまぐも}が近^{ちか}づき湿度^{しつど}が上^あがると、小^{ちい}さな虫^{むし}は羽^{はね}に水^{すい}蒸^{じょう}

気^きの粒^{つぶ}がつき、体^{からだ}が

重^{おも}くなり高^{たか}く飛^とべな

くなる。そして、低^{てい}空^{くう}

をヨタヨタ飛^とぶ虫^{むし}を、

ツバメが低^{ひく}く飛^とんで虫^{むし}

をゲットするとい^こ

とさ。」



オー君 「なーるほど。そういうことなんですね。むかしの人^{ひと}はよく見^みてたんですね。」

花ちゃん 「いろいろな生き物^{いもの}からお天気^{てんき}がわかるなんて、やっぱり自然^{しぜん}は偉大^{いだい}な気象予^{きしょう}報士^{よほうし}ということですね。」

モンタ博士 「『自然^{しぜん}は偉大^{いだい}な気象予^{きしょう}報士^{よほうし}！』か、なるほど、ぴったりでいい言葉^{ことば}だね。」

オー君 「モンタ博士！ほかにどんなことわざや言い伝^いえが^{つた}あるのですか。」

モンタ博士 「そうだね。まだまだたくさんありそうだね。そうだ！二人^{ふたり}でいろいろと調^{しら}べてごらん。そして、モンタ博士^{おし}に教^{おし}えてほしいね。よろしくね。」

ということで、二人^{ふたり}でいろいろと調^{しら}べてみると・・・たくさんあったとさ・・・



朝、クモの巣に水滴があれば、その日は晴れ。夕虹は晴れ、朝虹は雨。スズメが朝早くさえずる時は晴れ。くしが通りにくいと雨。太陽に「笠」がかかると雨。煙突のけむりがまっすぐだと晴れ、たなびくと雨。山に笠雲がかかると雨のきざし。雲のケンカは雨。ネコが顔をあらうと雨。朝の雷に川越すな。古傷がいたむと雨。冬の北風、日入ればやむ。夏の夕焼け、船つなげ。トンボが多く飛べば暴風。夏の海鳴りは台風接近のきざし。霧の深い朝は、昼間晴れて暑くなる。霜柱が折れると雨。家の中のものが汗をかくと雨。月夜の大霜。カメムシが大量発生する年は大雪。ハチの巣が低いところに作る時は台風多い。雷がなると梅雨明け近い。わた雲（積雲）は晴れのきざし。うろこ雲（巻積雲・高積雲）は三日のうちに雨・・・などなど。